# 事業報告

市民活動トーク

## 楽しいから始まる社会貢献　学ぼうレクリエーション

実施日：10 月 22 日 ( 土 )
参加者　7 名　講師　1 名　スタッフ 3 名

多様な社会生活の中において、より豊かな生きがいを求め、人生を送るために生涯学習が求められています。生涯学習とは何か、必要性・取組み・効果について講義していただき、地域社会の活性化、高齢者や障がい者の社会参加、子どもの健全育成など社会全体にとっての必要性を学びました。講師の「楽しく生きるために生涯学習が必要」との言葉が印象的でした。

〈参加者意見〉

- 楽しかった
- 「続編」を望む
- 講師の人柄が良かった
- 参加して良かった
- 生涯学習を通じて長く活動ができると思った

## 地域デビュー応援隊委員会による「まち歩き～福生を歩いてみませんか？～」

実施日：11 月 15 日 ( 火 )
参加者　3 名　講師 1 名　スタッフ 2 名
地域デビュー応援隊委員 4 名

地域を歩きながら “まち” の魅力発見・発信できる「まち歩き」を通して繋がりを育むことを目的に第 2 弾を開催しました。今回は第 1 弾（6/14）に参加した八重樫さんがナビゲーターとして、福生市の永田・長沢地区周辺をめぐりました。

当日はまたもや天候に恵まれなかったものの、福生神明社から田村家穀箱や玉川上水旧堀跡周辺を散策、そして田村酒造・旧ヤマジュウ田村家住宅を見学しました。参加者の皆さんは市内在住の方でしたが、八重樫さんのわかりやすい解説により、改めて福生のことを深く知ることができました。福生市は横田基地や 16 号沿いなど “洋” の雰囲気が特徴的ですが、今回のような風情のある、そして歴史を感じる “和” の雰囲気を併せ持つ、素敵なまちであると実感しました。

また、第 1 弾の参加者の方が今回の企画に携わっていただいたこと、当日参加者同士が談笑しながら交流している姿がとても印象的で、今後も「つながり」を大事に委員の方々と企画・発信していきたいと思います。

市民活動支援講座

## イベント・講座参加者の満足度が上がる 12 のヒント ～目からウロコで、共感と参加が得られる方法～

実施日：11 月 19 日 ( 土 )
参加者　15 名　講師　1 名
スタッフ 4 名

課題の設定から、それを伝える講座の開催方法、資料の配布方法や机上の効果的な利用方法、参加者の座順、アンケート結果の精査まで一連の手法を学びました。講座の企画案から始まり、備品の効果的な使用方法、告知の方法まで正に「目からウロコが落ちる」内容でした。この分野の第一人者を講師に招き、講座の開催ができたことは、市民活動を支援する中間支援施設としての役割を果たすことができたのではと思います。

〈参加者の意見〉

- とても大事な事柄
- 日頃気づかないことに気づいた
- わかりやすかった
- 難しかったが必要と思った
- クリアファイルの利用方法が良かった

## 道徳授業地区公開講座を終えて

輝き市民サポートセンター職員　小山隆徳

去る９月３日（土）福生市立第一中学校で「SDGs と社会福祉」と題し、道徳授業公開講座の講師を務めさせていただきました。

SDGs＝持続可能な開発目標の概要説明、ジェンダーやパートナーシップに関する話を展開して、SDGs は “誰一人置き去りにしない” ことを目標とし、社会福祉は “市民一人ひとり社会の一員として包みこむ” といった包摂的な考え方が必要であり「壮大な目標」ではなく「身近な事柄への関心から取組む」と講話しました。

最後に福生市立第一中学校の取組を SDGs の独自の 18 項目への設定と提案いたしました。今回の事業が「SDGs と社会福祉」を考えるきっかけとなればと心から願います。

# 登録団体活動紹介コーナー

## 東京・福生「すまい・地域・まちづくり研究会」

10/1 ～ 14

当研究会は福生･多摩地域の伝統的建築や歴史的環境を調査し、まちなみ保存、まちづくり活動にいかしています。福生市には「伝統的な住宅と住環境」や「80 棟あまりの蔵群」があります。都市化により消失していたかに思われていましたが、近年の調査で屋敷林や防火生垣、庭、お社を持つ伝統的な屋敷構えを持った伝統的住居と共に 80 棟近い蔵群の存在が明らかになりました。これらの蔵には、川越の蔵造りの高度な技術を受け継ぎ、防火性に優れた工夫が数多く見られます。また、酒造所の酒蔵、商家の蔵、豪農の穀物蔵、旧養蚕農家のまゆ蔵などその多彩さにも特徴があります。持続的な地域づくりのために、伝統的な住宅と住環境を守りながら歴史的環境を生かした未来につながるまちづくり提案をすすめてゆきます。

連絡先：小椋祥司
080-4812-8584

## 米軍ハウス保存・再生協会

10/15 ～ 31

福生市には、建設から 60 年余り経過した「米軍ハウス」があります。ピーク時には市内に 1500 戸あまり存在していましたが、現在では 150 戸程度しか残されていません。

「米軍ハウス」は、戦後連合軍の軍人・軍属家族のために建設されたアメリカ的住宅である「デペンデントハウス」に準じて建設され、歴史的にも価値を持つことはあまり知られていません。高度成長期にアメリカ文化にふれられる場として影響を与えた「米軍ハウス」に関する本格的調査や研究は少なく、建築遺産価値を再評価しつつ、福生の個性と魅力を発信する場として、また、希少な歴史的建築と景観を保存、継続していけるよう調査・研究、まちづくり活動をすすめてゆきます。

## 福生市音楽愛好者連絡会

11/1 ～ 14

福生市音楽愛好者連絡会（音連）は、福生市公民館で活動する音楽サークルのメンバーで構成され、市民音楽講座、市民音楽祭を開催して市民の皆さまにコーラスや楽器演奏など、いろいろな音楽を届けてきました。また、市民文化祭へも参加してきました。市民音楽講座は、音楽を練習して楽しむための講座で、成果発表は市民音楽祭 ( 6 月開催 ) で行っていました。これまでに、フォルクローレ、ジャズボーカル、ゴスペル、コーラスファンタジー「虹の村」などを発表しています。

現在は、コロナ禍で市民音楽祭が開催できないため、有志が集まり発表（リモートなど）の機会を設けています。尚、コーラスや楽器演奏などやってみたいと思われましたら、公民館公民館係 (042-552-2118) までお気軽にご連絡下さい。

音連
連絡先：石井和夫
042-551-8993

## シニアあすなろ

11/15 ～ 30

シニアあすなろは、公民館松林分館を拠点として活動している高齢者のサークルです。公民館の講座からスタートし当初は「さつきひろば」の名前でしたが、30 年を期に今の「シニアあすなろ」に名称変更し、さらなる飛躍を目指して再スタートしました。

人生 100 年時代と最近耳にすると思いますが、100 歳以上は今年度日本全体で、85,610 人、福生市では 28 名ですが徳洲会病院の健康講座の中では、９割が寝たきりだと聞きました。日頃の活動で、健康寿命を延ばすことがいかに大切だと思います。私たちのサークルでは、身体を動かすこと、近郊への花めぐり等季節を感じるウォーキング、福生市職員による出前講座、病院の医師、看護師等の健康講座、DVD 視聴や体操に脳トレと多彩なプログラムで活動しています。一度きりの人生、健康で楽しく過ごそうではありませんか！見学・入会いつでも大歓迎です、お待ち致しております。

連絡先：山口　勇
042-552-0151
mail：i-yama@t-net.ne.jp